

様式 2

|     |
|-----|
| 教 科 |
| 国 語 |

|     |
|-----|
| 種 目 |
| 国 語 |

|       |
|-------|
| 発 行 者 |
| 教育出版  |

| 調査項目                      | 意 見   |
|---------------------------|---|
| 1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校国語学習の振り返りと、中学校国語の導入単元を位置付けるとともに、高等学校で扱われる作者の作品を集めた単元も設けることで、小中高の系統性が十分に配慮されている。</li> <li>・「書くこと」の単元では、四コマ漫画や広告などの身近なものを使った導入から、抵抗感なく意見文を書く活動につながるよう配慮されている。</li> <li>・「読むこと」では、「みちしるべ」で読みの学習過程や学習ポイントを分かりやすくまとめて、自ら課題解決できるよう配慮されている。</li> <li>・「読むこと」単元の終末で、「書くこと」「話すこと・聞くこと」の活動が設定されており、読み取った学びをもとに、日常生活につなげて考えをまとめ表現するよう、領域間の関連が十分に配慮されている。</li> </ul> |
| 2 主体的な態度の育成               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の知的好奇心を喚起するために、社会生活に関連した事柄を教材として扱い、その量も無理なく指導できるよう配慮されている。</li> <li>・目標と振り返りを簡潔に示し、学習に取り組めるようにするとともに、学習のポイントを明示し、意識して活動できるよう配慮されている。</li> <li>・本編においては、語句調べと漢字の練習問題を用意し、巻末資料では、「学びのチャレンジ」の「挑戦しよう」において、家庭学習で発展的な問題に取り組めるよう十分に配慮されている。</li> <li>・各学年の「読むこと」教材では、我が国を代表する作家や作品に触れ、名作の世界に興味をもてるよう配慮されている。</li> </ul>  |
| 3 「地域社会人」の育成              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立・共生・自己実現の内容を含む教材は各学年に配列されており、クラスで行うボランティア活動等、地域で行う活動を題材として扱っている。</li> </ul>   |
| 4 印刷・造本                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚等の特性を踏まえ、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などが配慮されている。</li> <li>・巻末資料の「学びのチャレンジ」では、学習を振り返り、さらに挑戦する問題が示されており、考える力や目的に応じて判断する力などを高められるよう配慮されている。</li> </ul>   |
| 5 総 評                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高の系統性のある教材の構成・配列や、日常生活につながる領域相互間の関連において、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう十分に配慮されている。</li> <li>・家庭学習で発展的に問題に取り組める巻末資料の工夫において、主体的な態度の育成が図られるよう十分に配慮されている。</li> <li>・「地域社会人」の育成が図られる地域活動に係る教材等が配列されており、また、印刷・造本においても配慮されている。</li> </ul>   |